

和気町議会だより

和気議会NAVI

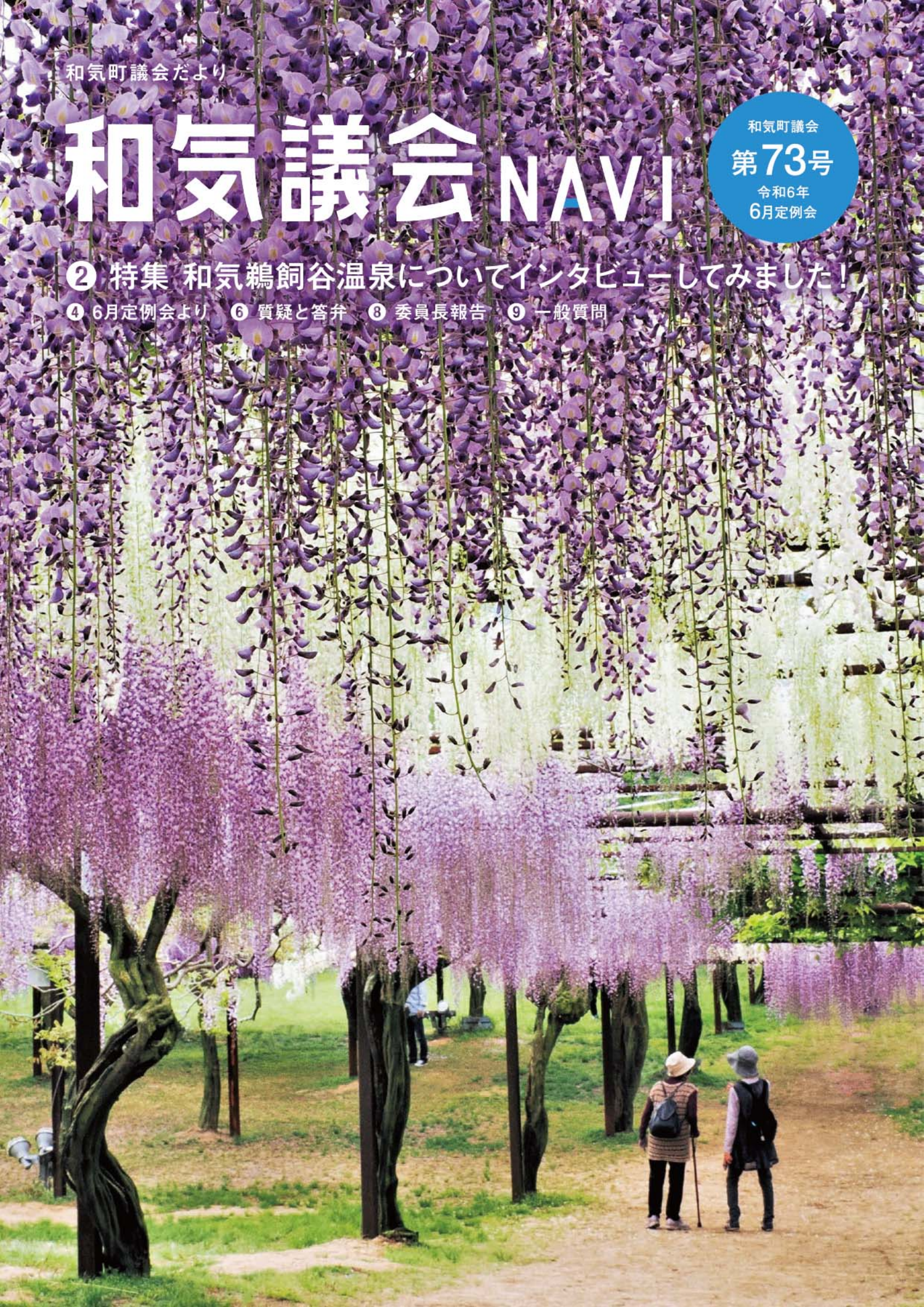
和気町議会

第73号

令和6年
6月定例会

② 特集 和気鵜飼谷温泉についてインタビューしてみました！

④ 6月定例会より ⑥ 質疑と答弁 ⑧ 委員長報告 ⑨ 一般質問





和気鵜飼谷温泉について インタビューしてみました!

特集

by 議会広報編集委員会



ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

ここがオススメ!



サウナが
広くていいよ
(60代・和気町)

公園・レストラン・温泉が
近くて便利だな
(30代・津山市)

町営だから
厳しい面もあると思うが
長く続けてほしい
(70代・和気町)



孫はお子様セットの
ガチャガチャ目当てです
(70代・和気町)

泉質がいいわ
(70代・和気町)

大広間に
スロープができて
使いやすくなったね
(70代・和気町)



料金の割に風呂が
充実しているね
(20代・和気町)

町民限定の60歳以上の
無料券ありがたい
(70代・和気町)

露天風呂に
肩までつかれるよ
(20代・町外)



月替わりの
限定メニューがいいよ
(70代・和気町)

食事がおいしい!
(70代・和気町)

薬草風呂が
お気に入りです
(80代・和気町)

食事の提供が早い
(50代・和気町)



ここがイマイチ!

お湯の温度が高くて
すぐにのぼせるから
行かない
(70代・和気町)

午前中も
プールを利用したい
(60代・和気町)

脱衣場が狭い
(70代・和気町)

お客様中心の
サービスを
(60代・和気町)

身近すぎて
行かない
(60代・和気町)

運転しなくなったし、
直通のバスも
ないから行かない
(90代・和気町)

レストランで
キャッシュレス決済
できたらいいのに
(30代・和気町)

足湯がほしい
(60代・和気町)

人が集まる
呼び物がほしい
(80代・瀬戸内市)

シャンプーなど
メーカー品を
使ってほしい
(30代・倉敷市)

東北のひなびた
温泉の雰囲気か
あったらなあ
(70代・岡山市)

お子様メニューの
うどんは「温かい・冷たい」が
選べるようにしてほしい
(70代・和気町)

宴会料理が
いまいち
(60代・和気町)

レストラン内に
視界を遮るものを
配置しては
(観葉植物など)
(30代・和気町)

無料の送迎バスが
ほしい
(70代・和気町)

デザートを食べたい時間に
レストランが
開いていない
(30代・町外)

食事のレベルアップ
(60代・赤穂市)

最新の
シャワーヘッドを
一部取り入れたら
いいのに
(40代・岡山市)

インタビューをしてみて

リピーターの方は、和気鵜飼谷温泉を気に入っていただいていると感じました。町内の方では近すぎて利用していないという意見もありました。改善点の意見も聞くことができ、これは和気鵜飼谷温泉がより良いものになる前向きなご意見とも捉えることができるのではないのでしょうか。県下唯一の町営宿泊温泉施設として、町内外からさらに愛される施設となるよう議会から執行部へ、皆さまの意見を届けていきます。



6月 議会定例会

令和6年6月11日～21日

令和6年度一般会計補正予算(第1号)ほか13議案を全会一致で可決しました。

補正予算(第1号)

● 物価高騰対応重点支援給付金(国庫事業) 1億7,631万円

- ・低所得世帯への支援 1世帯当たり 一律10万円
- ・低所得の子育て世帯への支援 1人当たり 一律 5万円
- ・所得税・個人住民税の減税しきれない人への給付

● 乳幼児紙おむつ無償提供事業 298万円

和気町認定こども園で使用する紙おむつを、町が無償提供することにより、子育て世代の保護者の経済的負担や園児の登園準備に掛かる保護者のストレス軽減を図ります。また、未就園児については紙おむつを現物給付します。

● 太陽光発電設備に係る調査設計委託料 3,451万円

和気鵜飼谷温泉施設内に太陽光発電を設置するための調査を行います。

● 和気町三保高原スポーツ&リゾート施設 管理運営に係る経費 1,411万円

管理運営費を追加します。

条例改正

● 公の施設の指定管理者の指定期間の変更について

和気町三保高原スポーツ&リゾート施設の指定管理者を終了し、当分の期間、町が直接運営を行います。

◎ 請願・陳情

請・陳	内 容	提出者	審査結果
請	介護保険の訪問介護基本報酬引き下げの撤回を求める請願書	岡山県医療労働組合連合会 執行委員長 西崎 克江	全会一致で 趣旨採択
陳	教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	岡山県教職員組合東備支部 支部長 土谷 涼太郎	全会一致で 採択



臨時議会

令和6年5月20日



議案番号	件名	審議結果
承認 第2号	専決処分(和気町税条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	全会一致で 承認
承認 第3号	専決処分(和気町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	全会一致で 承認
承認 第4号	専決処分(和気町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等を定める条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	全会一致で 承認
承認 第5号	専決処分(和気町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	全会一致で 承認
承認 第6号	専決処分(和気町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	全会一致で 承認
承認 第7号	専決処分(和気町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	全会一致で 承認
承認 第8号	専決処分(和気町下水道条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	全会一致で 承認
承認 第9号	専決処分(令和5年度和気町一般会計補正予算第11号)の承認を求めることについて	全会一致で 承認
議案 第38号	固定資産評価審査委員会委員の選任について：青山孝明氏	全会一致で 同意
議案 第39号	固定資産評価審査委員会委員の選任について：杉本晴彦氏	全会一致で 同意
議案 第40号	固定資産評価審査委員会委員の選任について：青盛眞人氏	全会一致で 同意
議案 第41号	教育長の任命について：徳永昭伸氏	全会一致で 同意
議案 第42号	教育委員会委員の任命について：岡部高弘氏	全会一致で 同意

質疑と答弁

本会議において次のような質疑と答弁がありました。



和気町三保高原スポーツ&リゾート施設条例の一部を改正する条例について

三保高原スポーツ&リゾート（ロマンツエ）の施設料金改定は

我澤 隆司 議員

Q ログハウス料金改定後は1棟当たり2万2400円に値上げという解釈でいいか。キャンセル料は適用が早いように思うが。

A 永宗 総務事業部長

現行料金に条例を合わせた。キャンセル料も運用に変更はない。条例の規定がなかったので規定を整備した。

テニスコートの料金が
高いのでは

山田 浩子 議員

Q 平日利用が1時間1100円、土日祝は1500円である。鶴飼谷温泉テニスコートは1時間500円、備前市サブコートは1時間450円、これら

の料金設定に比べて高いのでは。

A 永宗 総務事業部長

観光施設としての現行料金設定を踏襲している。

料金の改定は

山本 稔 議員

Q キャンセル料やテニスコート使用料金の変更はしないか。

A 永宗 総務事業部長

現行料金を当面維持する。



改修されたロマンツエのテニスコート

ロマンツエを今後どうするか

西中 純一 議員

Q 7月から8月の合宿利用の予定はあるか。今後の運営方針はどうか。

A 永宗 総務事業部長

現在、ロマンツエ本館での合宿受付は停止している。今後、観光施設として新たな指定管理者を求めていくか、宿泊事業から撤退して有効利用していくか、多方面から皆様のご意見も伺いながら検討していく時間が必要だと考えている。

公募の次点という考えは

神崎 良一 議員

Q 令和3年12月に行われた指定管理者選定委員会で選考されなかった次点の候補と交渉することは。

A 今田 副町長

指定管理については公募が原則で、再度指定管理するのであれば、再公募をしなければならない。



三保高原スポーツ&リゾート（風車）

和気町一般会計補正予算
（第1号）

ロマンツエの指定管理委託料は

山田 浩子 議員

Q 直営になることで施設使用料、観光費が補正予算で計上されているが、当初予算の指定管理委託料250万円はどうなるのか。

A 永宗 総務事業部長

4月から6月の実績を精査した後に、取り扱いについて検討していく。



当面町が直接運営管理するログハウス

質疑と答弁の動画は
こちらから！

その1



その2



その3



太陽光発電施設はなぜ補正なのか

山本 稔 議員

Q なぜ太陽光発電施設は当初予算でなく、今回の補正予算で提案したのか。

A 竹内 住民課長

再生可能エネルギー導入調査報告が1月末にあり当初予算に間に合わなかった。

環境衛生費の調査委託は何か

居樹 豊 議員

Q 環境衛生費の調査委託料3450万7000円の内容は。

A 竹内 住民課長

薬草園への太陽光設置と発電した電力を温泉へ送電するための自営線、蓄電池の設置、空調設備などの改修等に必要な現地調査を行い導入規模と具体的な設置方法について調査設計業務を委託するものである。

鵜飼谷温泉の太陽光発電装置設置の内容は

我澤 隆司 議員

Q 和気町営施設の電力使用量の35%を鵜飼谷温泉が使っているという解釈でいいか。それを太陽光発電でカバーするという考えか。

A 竹内 住民課長

公共施設の35%を占めていることから、太陽光発電を設置して、再エネ、省エネ導入と避難所としての機能強化も図ってきたい。



太陽光発電施設が計画されている薬草園

公の施設の指定管理者の
指定期間の変更について

三保高原スポーツ&リゾート
の今後の運営は

我澤 隆司 議員

Q 7月から町営ということだが、運営は現指定管理者が会計年度任用職員として受けられるのか。今後の運営方針は。

A 永宗 総務事業部長

7月以降、会計年度任用職員を雇って業務を行う予定。現指定管理者の協力が必要と考える。

A 太田 町長

今後については、専門家からは10億円単位の投資をすれば方法はあるとも。今すぐ判断はできない。

今後の方針は

山田 浩子 議員

Q 指定管理者を募集すると言っていたが、民間の業者への売却も選択肢にあるのか。

A 太田 町長

施設を作ってきた歴史、住民感情もある。しかし、選択肢の一つではあると思う。

今後の方針を早く示すべきでは

從野 勝 議員

Q 佐伯町の時代に直営でやっていたが、大変な目に遭って、指定管理にした経緯がある。できるだけ短期間で新しい方針を示すべきではないか。

A 太田 町長

早急に執行部の中でも詰め、様々な方にも相談をさせていただく。

工事請負変更契約の
締結について

告知端末の台数は、500台の
追加購入で済むのか

山野 英里 議員

Q 用意していた告知端末が1000台では足りそうになく、今回約8500万円かけて500台増加することになる。今までの申請件数905件の内訳は。

今回、500台を追加予定だが、それだけあれば足りるのか。

A 海野 財政課長

4月末現在で、75歳以上のみの世帯(完全無償の対象者)が727件、75歳以上の方を含む世帯(通信料のみの世帯)が152件、それ以外(通信料と端末自体に費用がかかる世帯)が26件の合計905件。追加で500件ということで、向こう5年もしくは10年間、不足がないようにしたい。

買い戻し条件は

神崎 良一 議員

Q 500台のタブレットは余れば買い戻してくれるのか。

A 海野 財政課長

500台は買い取り条件。10年間で500台は交付できると考えるが、買い戻し交渉も考えていきたい。

委員長報告

和気町議会には、2つの常任委員会と1つの特別委員会があり、付託された議案について、特に詳しく審議します。



総務文教常任委員会

今回、総務文教常任委員会において議案8件がすべて可決されました。陳情1件が採択となりました。

一般会計補正予算(第1号)の審議の中で、中学校部活動の地域移行と、同窓会支援事業補助金について活発な議論がありました。

主なものとして、中学校部活動の地域移行について、「佐伯中と和気中が、合同で部活動ができないか。」の質問に、「中学校体育連盟が、それぞれの活動で決まり事があり、今の段階では合同でできない。今は和気クラブに移行して同じ町内、近隣の市町と組んで、スポーツ活動ができるような方向で進んでいる。」と答弁がありました。

同窓会支援事業補助金について、「オンライン同窓会は含まれるのか、どういう考えで設定されたのか。」の質問に、「オンラインは想定していない、あくまで出会いの場を創出することで、補助金が出るようになっている。35歳以下を対象としており、縛りなく広く使っていただく、ということで行っている。」と答弁がありました。

厚生産業常任委員会

今回、厚生産業常任委員会において議案6件がすべて可決されました。請願1件が趣旨採択となりました。

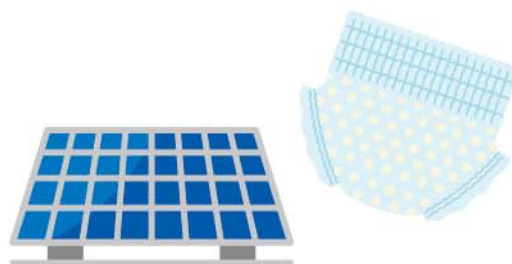
一般会計補正予算(第1号)の審議の中で、乳幼児紙おむつ無償提供事業、公共施設太陽光発電設置調査設計委託料、和気町三保高原スポーツ&リゾート施設(ロマンツェ)について活発な議論がありました。

主なものとして、乳幼児紙おむつ無償提供事業について、対象者や配布方法の質問に、「対象者は140人を予定し、園児は園へ無償配布し、未就園児は役場での配布を考えている。」と答弁がありました。

公共施設太陽光発電設置調査設計委託料について、調査設計の内訳の質問に、「鵜飼谷温泉の省エネ改修、薬草園への太陽光発電設置、その他近隣の設置調査費用である。」と答弁がありました。

ロマンツェ管理料について、利用者見込数と施設管理料の質問に、「過去2年間の実績を基に見込数を算出し、人件費約750万円、設備維持費約650万円と積算している。」と答弁がありました。

和気町三保高原スポーツ&リゾート施設条例の一部を改正する条例及び公の施設の指定管理者の指定期間の変更についての審議の中で、「町民の皆さまに有意義に使っていただけるような方法を早急に検討してほしい。」の意見に、「早い段階で議会に諮りたい。」と答弁がありました。



ズバリ!
ここが気になる!

一般質問

〈一般質問とは〉

一般質問とは、議員が和気町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を執行機関(町)に求め、適切な町政運営を進めているか議員がチェックするものです。

一般質問は一問一答方式で行われ、質問時間は質問・答弁を合わせて40分間です。

議会だよりでは、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。

6月議会定例会では8人の議員が質問しました。



PAGE
10

山田 浩子議員

- 高齢者の補聴器購入費の助成は
- こどもまんなか施策の充実を
- 手話言語条例制定後の取り組みは
- 防災士の実態は

PAGE
11

山野 英里議員

- こどもの意見を町政に反映できているのか
- HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチンの周知を

PAGE
12

居樹 豊議員

- 吉井川の河川公園倉庫の改修を
- どうする公共施設の維持管理

PAGE
13

我澤 隆司議員

- 和気町の男女共同参画の現状は
- 今ある施設の利活用はどうなっているか
- 漫画を使ったシティプロモーションの成果は

PAGE
14

万代 哲央議員

- 和気橋の架け替えに先行して
県道のバイパス化を実現すべきと考えるが

PAGE
15

西中 純一議員

- さらに和気町の産業振興を
- 新しい告知放送端末の状況は

PAGE
16

山本 稔議員

- 水稻農家の高収入化の取り組みは
- 町外からの新規就農者の課題点は

PAGE
17

神崎 良一議員

- 和気駅周辺をどう開発していくのか
- 岡山理科大学との包括連携協定は
- 藤公園の現状は



高齢者の補聴器 購入費の助成は

Q 障害者手帳を持たない高齢者の補聴器購入費、及びメンテナンス費用の助成は。聞こえにくさから社会参加が減ったり、孤立したりすることで、認知症の発症や進行につながることもある。手帳交付対象になる前の早い段階での助成制度があれば、認知症予防にもなるのでは。

A 松田 健康福祉課長

高齢者を対象とした助成制度は実施していない。障害者手帳取得で、原則1割負担、町民税非課税の方は負担なしで購入できる。メンテナンスにかかる助成制度もあるので、そちらを案内している。

Q 聞こえのセルフチェックの啓発チラシなどを作成して手帳取得後の助成制度などを周知している自治体もある。参考にしたい。

A 松田 健康福祉課長

既に実施している団体等を参考に、今後研究していきたい。

A

障害者手帳取得後の
助成制度活用を案内
している

こどもまんなか施策の 充実を

Q ①産後ママあんしんケア事業の利用状況は。赤ちゃんが入院している時でも利用できるのか。赤ちゃんの入院期間分の延長は。
②こどもまんなか応援サポーター宣言をしたが、今後の具体的な取り組みは。こども条例の制定は。

A 松田 健康福祉課長

①令和5年度から助成金額を見直し、ほぼ自己負担なく利用できるようになり、利用が増加している。母親のみ、また、死産や流産の方も利用できる。入院期間分の延長は要望があれば考えていきたい。

②おもつ助成事業、シヨートステイ事業の実施に向けて検討を進めている。こども計画の策定に併せて、こども条例の制定も検討していく。

A 太田 町長

子どもは将来を担う希望であり、社会の宝である。常に子どもの視点に立つて施策を進めていきたい。

手話言語条例制定後の取り組みは

Q 条例制定後、取り組んでいきたいと思っていることは。

A 松田 健康福祉課長

広報誌8月号から簡単な手話の記事を掲載、町が開催する大会等での手話通訳、学校や事業所へ講師を派遣しての講座開始など、手話に対する理解を広げていく取り組みをしていきたい。



防災士の実態は

Q ①防災士資格を持つ人は何人か。名簿の作成は。
②横の連携や研修会、組織作りは。

A 河野 危機管理室長

①補助金を活用して資格を取得したのは30名で、名簿は作成している。
②和気町では、組織作りをしていないが、日本防災士会岡山県支部への自主的な加入もできる。

Q 9月に和気町で防災士研修講座が開催される。防災士の協議会発足にも取り組んでは。

A 河野 危機管理室長

地域の防災力の向上にもつながる。今回の研修で資格者が増えれば、災害時の自主防災組織の充実などに向けて協議会等の設置も考えていきたい。

動画はこちら



山田 浩子 議員





こどもの意見を町政に 反映できているのか

A

生徒や学生の声を
聞く機会を
つくりたい

動画はこちら



山野 英里 議員

HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチンの周知を

Q 国や地方公共団体は、こども施策を策定、実施、評価するに当たって、こども、若者の意見を幅広く聴取して、反映させるために必要な措置を講ずることが義務づけられている。

こどもの意見を反映したこども条例
こども計画が必要ではないか。

A 松田 健康福祉課長

今年度は小学生や中学生、また若者本人に向けたアンケートの実施に加え、小学生は計画策定会議への参加、中学生はこども議会の場合を活用し、意見聴取を行う予定だ。

こども計画は、今年度中の策定に向けて取り組んでいる。

こども計画はこどもに関する施策全体の方向性を示す羅針盤の役割を果たし、こども条例はその方向性に基づいて具体的な施策を定めるための法的な根拠となる役割を果たす。

こども条例は地域の実情に即した施策を定めることができる。今後、こども条例の制定に向けた取り組みも必要であると考えている。



こどもだって、想いはたくさんある

Q より創意工夫をして、こどもたちや若者の気持ちを聞いていくことが必要ではないか。若者を対象にしたティーンズ会議などもできないのか。

A 松田 健康福祉課長

計画策定会議は年間4回を予定しており、アンケートで答えた小学生にも参加してもらい、具体的な意見を聞く予定だ。

A 太田 町長

生徒や学生の意見を聞く機会をつくりたい。

Q 子宮頸がんの予防効果があるHPVワクチン。重篤な副反応があり、予防接種対象者に積極的な推奨をしなかった時期があった。その時期の対象者(キャッチアップ対象者)が公費で接種できるのが、令和7年3月までとなる。対象者の4割程度がHPVワクチンについて「知らない・聞いたことがない」という調査結果もある。

① HPVワクチンの副反応、接種率は

② 現在の周知方法は

③ 中咽頭がんなどにも予防効果があるとして、男性へのHPVワクチンの接種を助成した自治体もあるが、町の考えは。

A 松田 健康福祉課長

① 副反応として接種部位の疼痛や頭痛などがある。頻度は低いが、中枢神経の疾患などの重篤な症状もある。

令和5年度末時点で、定期接種とキャッチアップ接種を合わせた初回接種率は30.7%である。

② 分かりやすい資料も添えて、接種の案内をしている。キャッチアップ接種の対象者で、過去に一度も接種していない方には、はがき

で再度、案内を送っている。告知放送等でも再度周知を図っていく。

③ 現時点では考えていない。

Q 対象者がいる場所へ出向いて、説明や話をする機会を設けることはできないか。

A 松田 健康福祉課長

若者が集まる場などがあれば、ワクチン接種の説明やポスターなども掲示していきたい。



定期接種：小学6年生から高校1年生に相当する女子
キャッチアップ対象者：高校2年から27歳に相当する女子

意見

本人が十分理解をして納得した上で、自己決定ができるように伝えていくのは、大人の責任だ。



吉井川の河川公園 倉庫の改修を

A

計画的に施設改修を
行っていく

動画はこちら



居樹
豊議員



Q 本公園は高齢者の利用が多く健康志向の高まりで、特にグラウンドゴルフの愛好者が増えている。スポーツを通じた健康増進の観点から屋外施設の環境整備の要望が関係団体からも出されている。こうした声にどのように応えていくのか聞きたい。

A 森元 社会教育課長

- ① 令和4年度にグラウンドを芝生化しており、グラウンドゴルフ場は愛好家が非常に多く、平均して年間300日前後の利用がある。
- ② 施設の維持管理については、グラウンドゴルフ協会に委託し、利用者目線で適切に芝刈りをし良好な状態が保たれている。
- ③ 倉庫については、グラウンドゴルフ用品の収納、乗用芝刈り機など、グラウンドメンテナンス



改修が待たれる河川公園倉庫

スに必要な物品を保管しており、建築後30年以上経過している。なお、トイレについては和式が残っており、時代に即した改修については検討していきたい。

A 新田 教育次長

河川公園は町民の健康づくり、社会体育の推進そして観光振興など、様々な役割を担っており総合的に考えていきたい。

どうする公共施設の維持管理

Q 厳しい財政状況の下、今後も人口減少等により本町にあっては公共施設の老朽化対策は重要課題である。長期的な視点で更新、統廃合、長寿命化など具体的な施策を計画的に行うことが必要であり、今後の全体的な考え方を伺いたい。

A 海野 財政課長

- ① 本町においては、2017年3月に公共施設等総合管理計画を策定し、個別施設の長寿命化計画を踏まえ不断の見直しを行い2022年3月に計画の改定を行い進めている。
- ② 維持管理経費の主な公共施設として、本庁舎、公営住宅、公民館並びに図書館などで施設管理に係る物件費で年間約1億4,600万円、維持補修費で約1,800万円となっている。
- ③ 公共施設やインフラは、高度経済成長期に集中的に整備をされたものが多く、老朽化した施設の更新が同時期かつ大量に必要である。維持管理経費が急速に増大しており、財政負担を軽減するために時代に即したまちづくりを行っていく必要がある。

なお、整備から30年以上経過した本町の公共施設は、全体の約43%を占めており、施策推進に努めたい。

A 太田 町長

公共施設については、原則として長寿命化を進めていきたいと考えている。町民にとって必要な施設であり、人口減少、高齢化の財政状況の中で、的確に対応していく考えである。



昭和45年建築の和気町中央公民館



和気町の男女共同参画の現状は

Q 男女共同参画について、区長、栄養改善推進委員、愛育委員など、町の重要組織の男女構成は。

A 則枝 総務部長

52区の区長は全て男性。愛育委員は男性が2名、女性93名。
栄養改善推進委員60名は全て女性。

Q 人選をお願いする際、男女共同参画を意識した案内になっているか。人選のガイドラインを作成できないか。

A 則枝 総務部長

慣例、固定概念に依存することなく町民一人一人が担うべき役割について、個性や自主性が生かされる形で人選されるべきだとは考えている。ガイドライン的なものを、今後検討したい。

意見

日本は男女平等について、世界146か国中118位。夫婦別姓の問題も世界で唯一認められてない国だ。ある意味、私たちは特殊な国に住んでいる。若い人や女性の意見が通りにくい生きづらい町になっていないか。小さな町だからこそ解決可能な課題だ。

A

区長は全て男性。栄養改善推進委員全て女性という状況ではある

動画はこちら



今ある施設の利活用はどうなっているか

Q 閉校後7年、旧小学校跡地の利活用の進展は。

A 海野 財政課長

7月1日に文部科学省の「みんなの廃校プロジェクト」のサイトに掲載予定。有効な活用事例の調査研究を引き続き行っていきたい。



日笠バラ園と旧日笠小学校

Q 日笠バラ園、益原多目的公園について、受益者負担という考えはあるか。人気の公園だが、はたしてこれで続くのか。

A 岡 産業振興課長

日笠バラ園は、令和2年度から町に管理が移管された。今年度は19日間の開催で、6,315人が来園した。入園料の徴収については、近隣の施設等も参考にして、検討したい。

意見

藤公園も今年から入園料も上がった。バラ園も益原多目的公園も町外の方が多い。日笠バラ園は、毎年600人以上の入園者がある。3000円の入園料でも180万円の収入になる。「しっかり儲けて、しっかりサービスで返す」この発想も必要ではないか。

Q 財政課が廃校プロデュースを行うことをどう考えるか。

A 太田 町長

まち経営課などが担当するべきかもしれない。財源を必要以上に投入することは厳しい。

漫画を使ったシティプロモーションの成果は

Q 2年目に入った「推しが武道館いってくれたら死ぬ」の漫画を使った町のプロモーションの成果は。

A 寺尾 まち経営課長

ファンクラブの会員数は約1,500人、メディア掲載48件、SNSのフォロワーが約3,200人、ふるさと納税の返礼品も二百数十万円あった。国内各地のほか、ドイツからのファンも来町した。ある種特異な事業だが、町として多様なノウハウを得られた。



ふるさと納税返礼品にも活用

意見

投資額を超えて効果があつたと思う。この事業のポイントは、全国から人を集め、官から民へも広がったことではないか。ここに今後のまちづくりのヒントがあると思う。

我澤 隆司 議員





Q 和気橋の各部材が危険な状態に陥っていないか、県が調査した結果、橋の「ひずみ」や「たわみ」は許容量の範囲内で、異常なしということだった。町としては、今後どう対応していくか。

A 西本 産業建設部長

県は今後も適正に維持管理を行い、橋梁の長寿命化に取り組むとのことだ。町としてはあらゆる方面から強く要望していきたい。

A 太田 町長

県とのトップミーティングの際、和気橋の架け替え並びに県道のバイパス化はハードルが高いという話だった。ただし、和気橋に何かあると生活に支障をきたす。今後も事あるごとに要望していく。

Q 昭和39年に竣工して以来60年を経過した。老朽化は避けられない。交通量も当時に比べ激増した。大型トラックも激増したが、橋の横幅は、6mと現状では狭い。加えて原・本地内の交通事故多発はここ数十年にわたって目を覆うものがある。この現実を思うとき、今後橋を架け替える時まで放置することはできない。交通事故多発の現実を置き去りにすることはできない。

Q 橋の架け替えはすぐにできなくても、県道のバイパス化は、すぐにでも取りかかれる。バイパス区間は、和気橋の石生側から堤防に入る道路を起点として、熊山橋に至るまでの約5kmの区間が最善と私は考えている。今のままの堤防道路ではところどころ通行幅が狭い箇所があるし、橋からの取付等々、道路改良が必要であろう。

Q バイパス化の実現のため1日も早く、早急に動くことが望まれる。そうは思わないか？

A 西本 産業建設部長

和気橋の架け替えとバイパス化は一体的に計画していくべきと考えている。同時要望していく。

Q 町が占有している道路を県道に格上げして、バイパス化できないか？

A 西本 産業建設部長

県道の事項であり、町ができる・できないは言えない。

Q 和気橋の架け替えに先行してバイパス化の実現を目指して、道路改良に今すぐ取り組むべきと考えるが？

A 太田 町長

県は和気橋の架け替えとバイパス化は一体的であると言っている。一体化が可能になるかどうかはわからないが、県には一体化を要望していく。

和気橋の架け替えに先行して
県道のバイパス化を
実現すべきと考えるが

A

架け替えとバイパス化は
一体的計画として今後も
県に要望していく

動画はこちら



万代
哲央
議員





さらなる和気町の 産業振興を



現在、具体的な話はない
用地開発は考えていない

動画はこちら



西中
純一議員



Q

美作岡山道路の料金所付近の残地、日笠と山田小学校跡地、旧日本弁柄跡地、苦木の生ごみ資源化センター用地の一部等に中小企業の誘致の話はないか。新たな工業用地の開発はどうか。

A 寺尾 まち経営課長

美作岡山道路の料金所付近の残地は県有地ということで、企業から問い合わせがあれば県と連携して対応している。何件か問い合わせがある。学校跡地はサテライトオフィスにどうかと検討したが誘致には至っていない。苦木の生ごみ資源化センターも具体的な話はない。

また、工業用地開発では企業側の要望と合う適地が非常に少ない、農業振興地域は制約もあるので新たな用地開発は考えていない。

Q 各種農産物を加工する会社を起業することに対して町として奨励できないか。



新たな活用が期待される旧山田小学校

A 岡 産業振興課長

町では他市町との合同で創業塾という研修会を行っており、町内で創業する場合10万円の補助金を交付している。町内で農産物を加工する法人が増加することは農業振興にもつながるので、様々な角度から支援策を今後も検討していきたい。

新しい告知放送端末の状況は

Q 75歳以上の世帯でタブレット端末を設置してもらうべき人に届いていないのではないか。もっと庁舎あげて100%利用していただく努力が必要ではないか。このままでは災害が来た時、対応できないのではないか。緊急時にはリアルタイムに音が出るようにすべきでは。

A 海野 財政課長

75歳以上の方でも普段スマートフォンを利用しているので十分だと意見もある。その認識も持っていただきたい。

アプリのインストール方法も広報わけで、詳細に掲載しているのでご利用いただきたい。しかし、タブレット希望者の方には身体的な理由などからご自身で利用申請できない方もいるので、区長や民生委員の方にも協力いただきながら代理での申請などを通じて確実に告知端末が行き渡るように心がけている。また、健康関連のア

プリ、子育て支援アプリ等については、今後とも研究していきたい。スマートフォンでは緊急地震速報など自動発信サービスを利用し、安全確保につながる行動をしていただきたい。



新しい告知放送端末



水稲農家の高収入化の 取り組みは



充実した農業支援に 取り組む

動画はこちら



山本
稔
議員

Q ①給食を町産米にできないか。

②町産米をふるさと納税返礼品に使用しないのか。

③小規模農家に機械貸し出しはできないか。

A 今田 副町長

①町内小、中学校の給食は岡山県学校給食会を通して町産米を使用している。昨年度、有機農業事業の推進、PRを目的に化学肥料、農薬を使用していない米を2か月程度使用しており、今年度も使用する予定である。給食を一つの販路として確立することで農業者の収入増にもつながると考えている。

に大変有意義であるが、生産者が行う発送作業や関係機関との調整にかかる手間が妨げになっている。

③農業機械貸し出し事業を導入した場合十分な機械の確保、使用時期が重複すること、故障の修繕等課題が多く、導入には慎重な判断が必要である。

②ふるさと納税返礼品に町産米を使用することは、町産米のPR、水稲農業の振興



無農薬栽培米圃場で除草機を使っている様子



有機無農薬田植えまつり

町外からの新規就農者の課題点は

- Q ①町外からの新規就農者はどのくらいいるか。
②移住就農者の定住率とやめて出た農業者の理由は何か。
③現在の問題点について何か把握しているか。

A 岡 産業振興課長

- ①過去10年間の移住就農者は24名で、近隣の府県、関東圏など様々な地域からで農作物も多岐にわたっている。
②現在も和気町に住んでいる方は20名で、定住率は83%である。和気町から転出された理由については体調を崩され農業をやめた、経営不振により離農した、自己都合などと把握している。
③農産物の生産は天候に大きく左右されること、繁忙期には休日返上で早朝から夜遅くまで農作業に追われること、農道や水路の管理、清掃など地域の方と協力して行う作業があること、限られた時間と予算の中で収益を確保することなど、農業の現状を伝えて、持続可能な農業経営につなげていく。



新規就農で茄子を栽培している圃場



和気駅周辺を どう開発していくのか

Q 和気駅周辺開発について

- ① 現在和気駅周辺をどのように開発していくのか。
- ② その中で今年度の計画はどのような事業があるか。
- ③ 早島駅事業はどのような事業が把握しているか。
- ④ 和気町では同様の事業実施は可能か。

A 西本 産業建設部長

① シルバー世代やハンディキャップのある方のためのエレベーター設置、和気駅の利用を促進するための駐車場の拡張、この2つを軸に和気駅構内を含め周辺整備を進めていく。

② 現在エレベーター設置に関しJRと協議を重ねている。

今後、駐車場の拡張を進めていく。また、タクシーの乗降場所や待機場所のスペースも検討課題だ。

③ 早島駅周辺地域再生拠点化事業として約15億円をかけて、まちのにぎわい、コミュニティーの形成や公共交通機関の利便性向上を目的にしている。

④ 和気町はバリアフリー法に位置づけられた事業で早島町の事業とは異なり、維持管理費が莫大なものとなり、実施は不可能だ。



バリアフリー化が計画されている和気駅



エレベーター設置と
駐車場拡張を軸に
駅周辺整備を進めていく

岡山理科大学との包括連携協定は

Q ①現状はどうなっているのか。

②特に人工飼育水(好適環境水)の活用は今後どのように進めていくのか。

A 寺尾 まち経営課長

① 今年6月14日岡山理科大学等を含む学校法人加計学園と包括連携協定を締結した。締結前から害獣対策の実証実験を行っており、今後は加計学園と本町の抱える課題

について共有し協議していく流れとなる。

② 現時点では、鵜飼谷温泉のレストランで7月1日より岡山理大うなぎを使ったメニューを提供する予定で、今のところは具体的な計画はない。

藤公園の現状は

Q ①来場者数と売り上げは。

②入園料を引き上げに対する来場者の反応は。

③藤公園を運営していく上での問題点は何か。

④その改善策や対策は何か。



改修が待たれる藤棚

A 岡 産業振興課長

① 期間中の入場者数は5万564人で、売り上げは約2,000万円。

② 苦情や否定的な意見はなかった。

③ 藤まつり期間中、道路渋滞に伴い近隣住民へ迷惑をかけた。また、藤棚の老朽化、鹿によ

る花の被害等がある。

④ 道路渋滞に対しては臨時駐車場の確保と来場者の分散化を図る。藤棚の老朽化には全面的な更新を、鹿に対しては高周波音による追い払いを検討している。

動画はこちら



神崎 良一 議員





表紙写真を 募集しています



あなたが撮った写真が『議会だより』の表紙になります！

発行月(1、4、7、10月)にふさわしい町民の笑顔やイベント行事などの写真をお送りください。

採用になったお写真は、『議会だより』表紙に掲載するとともに、誌面で紹介させていただきます。また、和気町PRグッズを差し上げます。

*詳しい応募要項は、和気町議会ホームページをご覧ください。事務局までお問い合わせください。



写真はイメージです。

今月の表紙

「藤の花 満開!」



一部加工・トリミングして掲載しています。

撮影場所：和気町 藤公園

撮影者：古野 勝志

コメント：毎年楽しみにしている藤公園、今年も立派に咲きました。藤の花がまるでシャワーのように咲いていました。その美しさに感動しシャッターを切りました。

編集後記

今年はなかなか降らなかった雨、6月下旬にやっと梅雨入りしましたね。

今回の特集「和気鵜飼谷温泉」についてインタビューをしてみました！「はいかがでしたか？町内外の皆さんから貴重なご意見をいただきました。ご協力いただいた皆さんありがとうございました。

また、動画配信をご覧になった方はお気づきかもしれませんが、6月定例会から議員席側に『質問者席』を新しく設置して、一般質問を行いました。質問する議員と回答する執行部とが向き合う形で、より良い議論の場が持てると思います。これからも町民の皆さんのご意見を執行部に届けていきます。

(神崎 良一)



和気町議会だより 第73号 令和6年7月25日発行

和気町議会広報編集委員会 岡山県和気郡和気町尺所555番地 TEL0869-93-1121(代)
和気町議会ホームページ <https://www.town.wake.lg.jp/gyoseijoho/wakichogikai/>



和気町議会
ホームページはこちら！
和気町議会 検索